

2020年 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社あおぞら	代表者	西田 裕	法人・事業所の特徴	「本人が望まれる限り、在宅での生活を続けていけるように支援をする」「介護者の負担を軽減することで、心穏やかな生活をご家族と共に過ごしていただきたい」「この人の生き方に寄り添って、一緒に楽しい人生を過ごしてもらう」を理念に、利用者一人一人の人権を尊重し、その人がその人らしく家庭的な環境の下で、地域の方とも交流を図り、本人の意向、趣味、娯楽を受け入れたサービスを提供致します。
事業所名	小規模多機能あおぞら	管理者	西田 裕		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	人	1人	1人	人	1人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職場を働きやすい環境に整え、職員に長く勤めてもらえるよう努める。	紹介会社から職員の紹介を受けたりして、人員確保を目指していましたが、定着がうまくできず職員の離職が目立ちました。	職員の自己評価について、それぞれ職員の経験年数などにより、自己評価の基準がそれぞれに違いが出て、内容を単純に比較できないのではないかと。	職員の確保とサービス向上に努め、宿泊サービスの対応を幅広くできるように体制を整備する。
B. 事業所のしつらえ・環境	ケースに繋がらない場合でも、相談対応した記録を残すようにし、統計をとれるようにする。	来訪者記録票を作成し、一年間の来訪者の人数を記録しました。	事業所で利用者の居心地が良ければいいと思います。	感染症対策を徹底し、安心して事業所に来てもらえるよう環境を整える。
C. 事業所と地域のかかわり	イベントの企画、防災訓練の参加を続ける。地域とのかかわりに新しい取り組みを模索する。	事業所で企画したイベントを開催し、地域でのかかわりに努めていますが、新型コロナウイルスのため防災訓練は参加できませんでした。	感染症対策に気を付けて、地域の交流の仕方を考えてもらいたい。	新型コロナウイルスでの環境変容に対応した催しを企画し、地域交流に貢献できるよう務める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域のイベントに参加を続け、交流を深める。	新型コロナウイルスの影響でイベントが無くなったため、参加できなくなりました。	新型コロナウイルスに気を付けてもらいたい。	感染症対策に十分配慮した上で、地域イベント等に参加して交流を深める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域のお困りの方を支援できるよう情報収集に努める。	町会の方から相談を受けたり、包括支援センターから相談されたケースがサービスにつながった事例があります。	相談に乗ってもらえて良かった。今後もお願いしたい。	介護の悩みや困りごとなどの相談を受け付け、地域での介護課題の情報収集に努める。
F. 事業所の防災・災害対策	訓練を引き続き実施し、また災害時の対応マニュアルを地域の方に周知を行う。	防災訓練は3か月に1度実施しておりますが、地域の方にも参加してもらえるような取り組みができず、周知を行っていません。	あおぞらでどのような災害対策をしているかわからない。	防災訓練の内容を推進会議でも報告するように務め、災害対策についての周知を行う。